

【第14章4節】「コンセンサスグループワーク」解説

1. 目的

- ① グループ内の話し合いの過程で、自分とは異なる意見や判断をしている人から学ぶ。
- ② 人物や状況に対する自分の判断の特徴や、考え方に気づく。
- ③ グループで考えることのメリットの理解する。
- ④ 合意形成の難しさの体感する。
- ⑤ 合意形成を行うためのコミュニケーションスキルを把握する。

コンセンサスとは「意見・意志の一致」「集団での意志決定」といった意味です。グループワークでは、意志や意見を「一致」「決定」するプロセス（過程）が大切になります。ワークでは自分の意見を必ず表明することで、互いの「自己開示」が促進され、お互いを知り合うことが可能です。話し合いの中で、意見や判断、さらにはその人の持つ価値観や人生観が見えてきます。コンセンサスを得るには自分の意見を整理して相手に伝わりやすく話すことが必要となります。そこでは、「意見の変化」「意見の修正」が起こるわけですが、それが生じる要因を考えることも大切です。自分の意見が必ずしもグループの意見として選択されなくても、「メンバーは自分の意見を真剣に聞いてくれた」「『そういう考えもあるね』と認めてもらえた」ことから、周囲に受け入れられた、納得ができたと思えるかもしれません。時には自分の意見に反対されたことで「周囲に受け入れてもらえなかった」と感じることもあるでしょう。また、同じ意見なのにAさんの発言は受け入れられるけれど、Bさんの発言は受け入れられないといったことも生じます。グループワークを体験する中で、互いを認め合う話し合いの持ち方や意志決定の方法を学んでください。

2. コンセンサスグループワーク実施の留意点

- ① 特定の司会者を置かない

特定の人が司会進行をすることで、時には強引な決定となることがあります。また、司会者が自分の意見を提示しないこともあるので、これらを防ぐ目的で司会者を置かないこととします。

- ② 多数決や平均値で決めない

多数決や平均値によって決定することは、葛藤や互いの意見を主張しあったり、時には折り合いをつける体験を回避することにつながります。このワークでは、簡単に自分の主張を譲ることなく、相手の意見や判断に納得した場合に自分の意見を変えるプロセスを大切にしてください。

- ③ 自分の意見を主張し、人の主張を丁寧に聴く

互いの主張や意見を踏まえた上で決定するためには、自分の意見や主張を相手に伝わりやすい方法で伝えると共に相手の意見を丁寧に聴きます。